

非血縁者間骨髄移植・採取認定施設
移植認定診療科連絡責任医師 各位

(公財) 日本骨髄バンク
医療委員会

ドナーリンパ球輸注 (DLI) が困難となった場合の対応について(お願い)

この度、ドナーからのリンパ球採取後に移植施設から「患者の病状で本日 (Day0) は輸注はできない」と相談があり、審査の上、ドナーリンパ球を全量凍結した事例^(*)が複数発生しました。

(*) DLIであっても、骨髄液/PBSCと同様に初回輸注せずに全量を凍結することは認めておりません。

いずれの事例も、ドナーからの採取終了後の連絡でしたが、輸注困難な状況の連絡がドナーの採取前であれば、一旦、採取を中止し、採取日程を再調整する対応が可能な場合があります。

先生方におかれましては、外来業務等で多忙のこととは存じますが、**輸注が困難となった場合、それが分かった時点で至急、移植調整部に一報ください。**(また、全量凍結については、医療委員会の審査が必要なため、ドナーの採取後であっても、至急のご連絡が必要です。)

併せて、今一度、下記をご確認いただき、今後も格段の注意を払ってご対応くださいますようお願い申し上げます。

【DLI に関する注意事項】※「患者コーディネートの進め方」P55、「ドナーリンパ球輸注マニュアル 第2版」P7 参照

■初回輸注と凍結について

- ・BM/PB と同様、採血終了後、可及的速やかに輸注してください。
- ・初回輸注の残りを2回目以降のために凍結保存し、分注することは可能です。
輸注せず、全量凍結することは認められません。
- ・直前に輸注が困難となった場合、それが分かった時点で移植調整部に一報すること。

※関連情報については、下記をご参照ください。

日本骨髄バンク ホームページ>医師の方へ>患者主治医の方へ>医師宛通知文一覧>

2014. 2. 14 「初回輸注せずドナーリンパ球を全量凍結した事例について (ご報告)」

2014. 5. 15 「初回輸注せずドナーリンパ球を全量凍結した事例について (再度のご報告とお願い)」

<問い合わせ先>

公益財団法人 日本骨髄バンク 移植調整部

TEL 03-5280-4771 FAX 03-5280-3856